

玉野市(中国ブロック)

【計画期間 24年4月～29年3月】

- ・明治～ : 宇野港の修築、宇野線開通と宇高連絡船の就航により、本土と四国を結ぶ海上交通の要衝としての基礎を構築。
- ・大正～ : 造船所の建設により製造業を中心に発展。
- ・昭和～ : 瀬戸大橋開通に伴う宇高連絡船の廃止により交通体系が劇的に変化。産業構造のソフト化が進み、第3次産業へと移行。

【中心市街地を巡る状況】

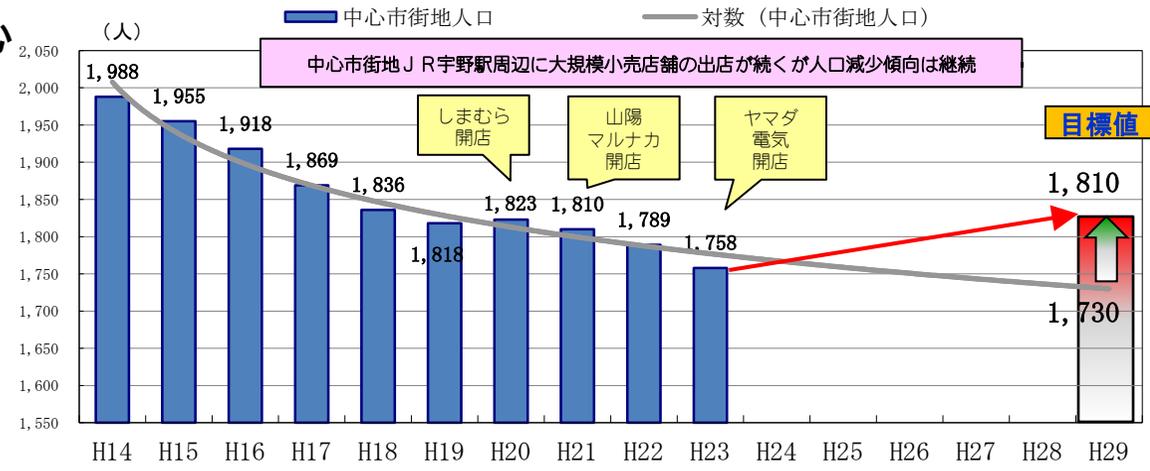
- オイルショック以降、基幹産業であった造船業等不況の影響により人口は減少傾向。
- 岡山市や倉敷市の商圈に属す郊外部への人口流出により、既存商業施設の衰退が加速、中心市街地のにぎわいが低下。
- 宇野駅周辺大規模遊休地の活用により、来街者の滞在・回遊策と一体となった中心市街地の求心性向上への取組を開始。

【中心市街地に関する指標の推移】

- 中心市街地内の居住人口
H1: 2,755人 → H23: 1,758人 (▲36%)
- 歩行者通行量(商店街周辺2地点休平日計)
S62: 2,034人 → H22: 734人 (▲64%)

目標	指標	現況値	目標値
中心市街地内の回遊性の向上	歩行者・自転車通行量(休日)	4,658人/日 (H22・23)	4,921人/日 (H28)
街なか居住の推進	居住人口(人)	1,758人 (H23)	1,810人 (H28)

【中心市街地内の居住人口の推移と数値目標】



- 中心市街地の回遊性の向上～まちの魅力が連携し、人が集い行き交うまちづくり～
⇒ ①瀬戸内温泉「たまの湯」事業、②瀬戸内・海のホテル事業、③ののちちゃんとアートの街・回遊事業、など
- 街なか居住の推進～生活と福祉が充実し、ふれあいがある住みよいまちづくり～
⇒ ④移住者支援・交流拠点設置運営事業、⑤高齢者向け賃貸住宅整備事業、など

